

# 定例選挙管理委員会会議録要旨

日 時	令和6年5月 14 日 午後4時 00 分
場 所	横浜市選挙管理委員会室
出席者	田中委員長、川口(正)委員長職務代理者、川口(珠)委員、齊藤委員
	武島事務局長、石川選挙部長、廣澤選挙課長、古川調査課長
	須藤庶務係長、遠藤選挙係長、代田調査係長、今永担当係長
	間宮専任職、宗仲職員

## 議 事

### 1 報告事項

#### (1) 令和6年度選挙管理委員会事務局運営方針について

##### 《主な発言》

委員：今年度調査課が新設されたが、体制はもう少し強化しないと調査研究の仕事が進まないのではないかと懸念している。

委員長：市選管の職員が直接現地に行って調査することが重要である。今よりも仕事量は確実に増えるため、体制強化は求めていきたい。共通投票所の実現に向けては、引き続き情報収集を行っていただきたい。

事務局：共通投票所の議論は後退させず、着実に進めていきたいと考えている。選挙啓発なども現地に出向かないと伝わらないことがある。委員の皆さまのアイデアを最大限参考にさせていただきたい。

委員：投票率を向上させるために、PTAや青少年指導員協議会など明推協以外の団体にはこちらから出向いて協力を得ることが望ましい。

委員：小中学校の「おやじの会」などに協力してもらうのも良いと思う。

《 報 告 の と お り 了 承 》

## 2 その他

令和6年4月定例選挙管理委員会で各委員よりご提案いただいた「立候補休暇」及び「平日投票」について、事務局から報告した。

### 《主な発言》

委員：平日投票を行う場合は、基本的には法律で定める必要があることは理解した。なお、その際は投票日当日を公休日とすることが望ましいと考える。地方選挙で平日投票を導入している3つの町の投票率や町の産業構造等を調べてほしい。

委員：選挙に関心は持っているが、投票したいと思える候補者がいないため、投票行動につながらないように思える。

委員長：市長選挙は夏に行われるが、投票率の状況はどうか。

事務局：令和3年執行の市長選挙の際は、コロナやIRなどが争点となり、過去最多の8人が立候補し、投票率は49.05%となり、前回より上昇した。平成29年は37.21%、平成25年は29.05%であった。

委員長：インターネット投票を導入すれば投票率は上がるのだろうか。

事務局：エストニアが導入しているが、必ずしも投票率向上にはつながっていないようだ。

委員：瀬谷区の臨時期日前投票所が瀬谷駅直結の区民文化センターに移転したことにより、選挙人の利便性が向上したため、投票者数が大幅に増えた。瀬谷区以外で臨時期日前投票所を従来の場所から駅前などのより利便性の高い場所に変更した区の投票者数や投票率の推移を調べてほしい。また、臨時期日前投票所の場所に当日投票所を設置すれば、当日投票者数も増えるのではないかと考える。本市の状況を確認してほしい。

事務局：地域との調整は必要であるが、臨時期日前投票所の場所に当日投票所を設置することは可能である。

委員：当日投票は「投票のご案内」に記載されている投票所に行かないといけませんが、本市において共通投票所を導入する場合、市内のどこの投票所でも投票できるようになるのか。

事務局：お住まいの区であれば、どこの投票所でも投票できるかたちでの共通投票所の導入を予定している。

《 説 明 の と お り 了 承 》